



イオン北海道からみなさまへ

大規模な自然災害に備えて



総合防災訓練

本社と被災想定店舗をテレビ会議システムやスマートフォン用通信アプリで接続し、被害想定に応じた各種訓練を実施



防災協定

店舗所在の全市町村と締結



音更町との防災協定締結式

防災への取り組み



バルーンシェルター

画像は2019年に実施した、「バルーンシェルター」を設営するための電力を、電力会社保有の低圧発電機から供給する訓練の様子



イオン北海道は防災に向けた取り組みを行っています

イオン北海道は、地域の暮らしを守る社会インフラの一つとして、大規模な自然災害に備え、防災に向けた取り組みを行っています。

一例として、災害が発生した場合の地域との協力体制構築のため、当社は北海道をはじめ、道内の自治体や民間企業などと防災協定を締結しており、災害時、支援物資の提供などを行っています。

また災害発生時、生命を守りいち早く営業を再開するため、毎年イオングループ

各社や防災協定締結先などと連携し、大規模な地震や津波、台風などを想定した「総合防災訓練」を行っています。

さらに、災害に備え、イオンモール札幌発寒・釧路昭和では、緊急避難用テント「バルーンシェルター」を配備しているほか、イオンモール苫小牧・札幌平岡、イオン江別店では「自家発電装置」を備えています。

イオン北海道はこれからも社会インフラとしての役割を果たすべく、防災に向けた取り組みを継続してまいります。



SDGsの取り組み



SDGs（持続可能な開発目標）とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標11、17の達成に貢献します。